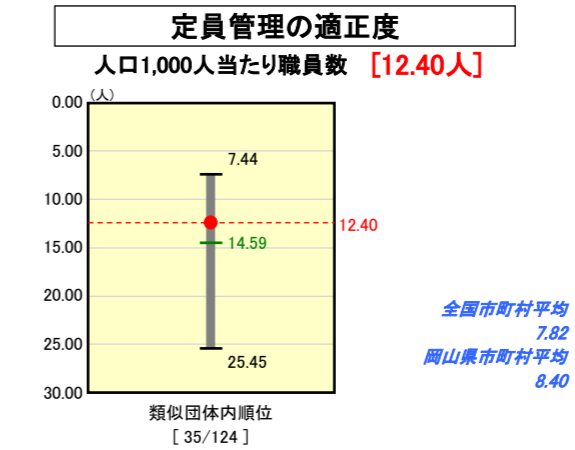
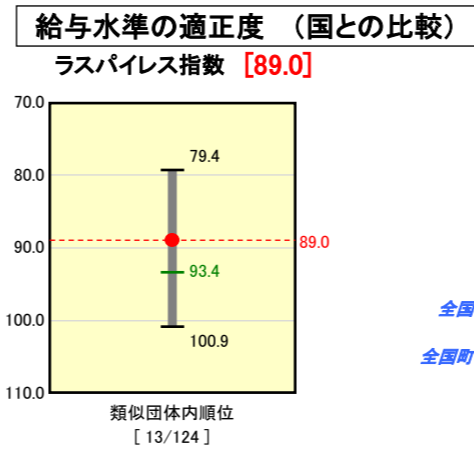
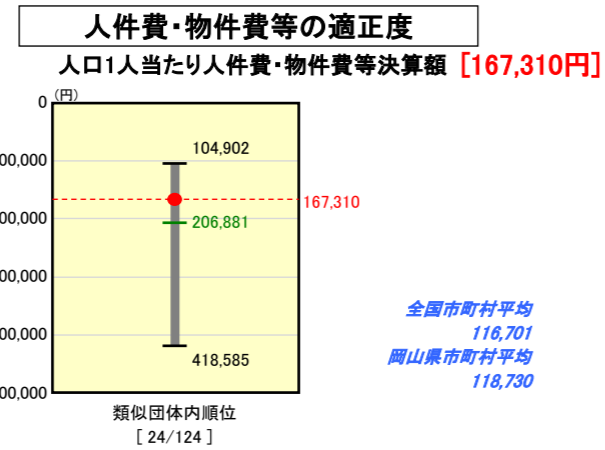
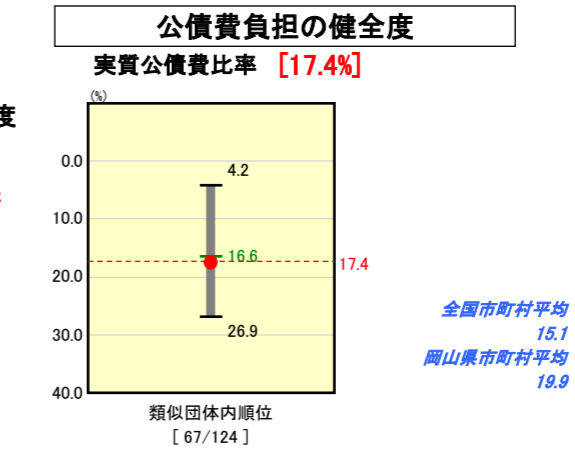
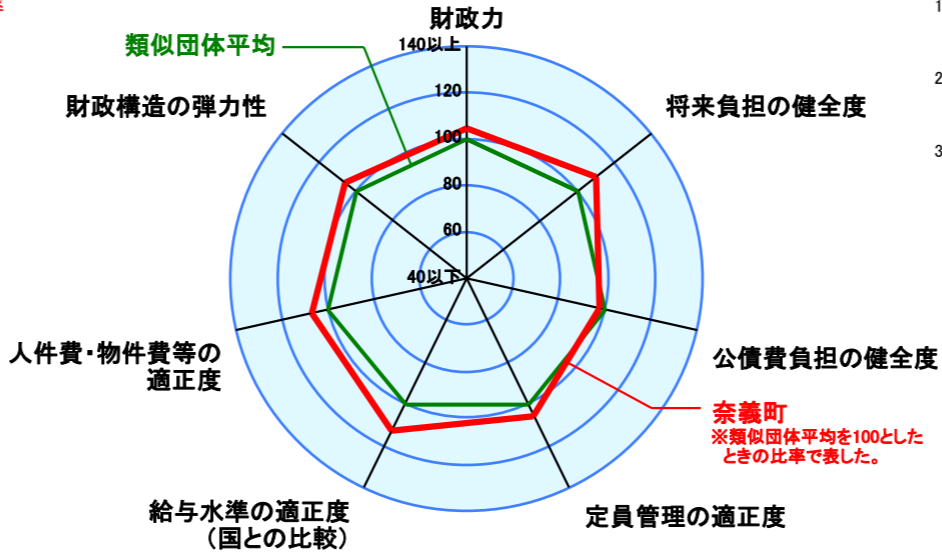
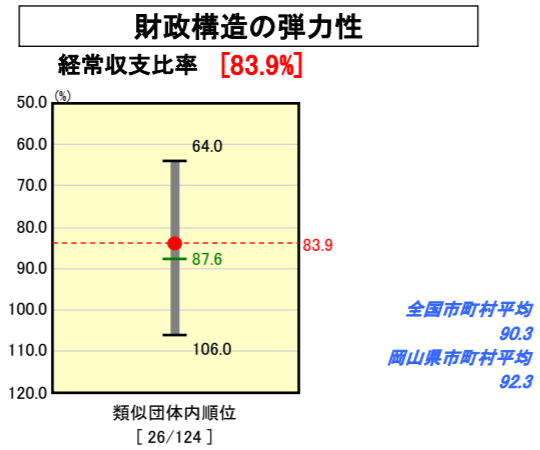
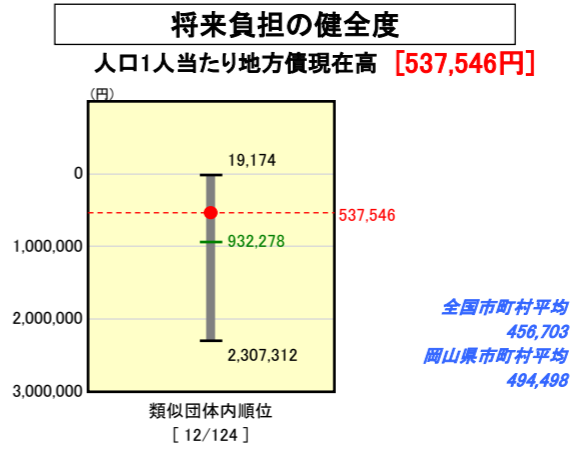
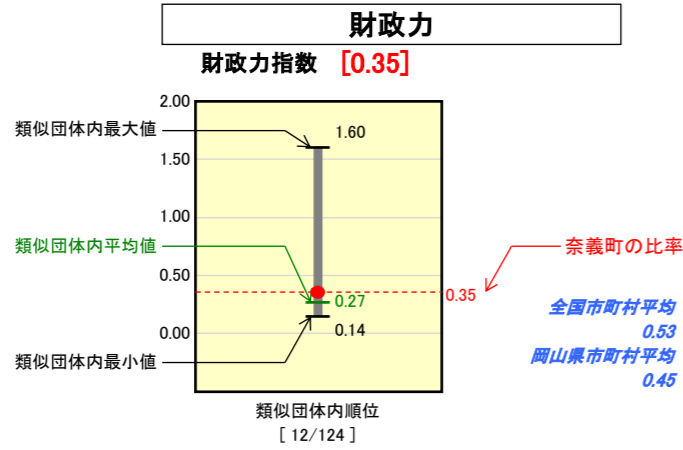


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岡山県 奈義町

人口	6,613	人(H19.3.31現在)
面積	69.54	km ²
歳入総額	3,689,295	千円
歳出総額	3,379,758	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：財政力指数の分母となる基準財政需要額が年々減少していることで、結果的には類似団体の中でも高水準にあるが、引き続き収収等の徴収率などの向上に努め、安定した歳入確保を図る必要がある。

経常収支比率：義務的経費の公債費が減少し、経常一般財源となる地方交付税・地方譲与税の確保ができたため、類似団体平均と比較すると低い状況にある。行財政改革の計画のもとに、歳出削減に努め、現在の水準を維持していく。

実質公債費比率：新規起債の抑制により、平成18年度においても、ほぼ類似団体平均上にある。しかしながら、上水道事業の繰出金の増・下水道事業の供用開始等の影響により、財政指標は昨年度より上昇した。今後は公営企業・特別会計の補助費・繰入金等を見直し、健全な財政運営を引き続き行っていく必要がある。

ラスパイレス指数：全国平均及び類似団体の中でも低い水準になっている。今後は人事院勧告に基づくとともに、民間企業の平均給与の状況を踏まえ、給与の適正化に努めていく。

人口1人当たり地方債現在高：学校給食センター建設により、昨年度より1人当たりの地方債現在高は上昇したものの、その他の新規起債の抑制を実施しているため、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後も新規起債の抑制を引き続き行い、水準以下に抑えていく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：人件費、物件費及び維持補修費の合計額が、類似団体平均を下回っているのは、主に物件費の削減が要因となっている。今後も経常経費の徹底した見直し等により事務経費の節減に努める。

人口1,000人当たり職員数：勤奨退職者等の増により、類似団体と比べ低い水準にある。今後も住民サービスの低下を招かないよう、適正な人員配置を行う。